

2020（令和2）年度 第1回広報委員会 議事録

日時：2020年7月4日（土） 午前7時半～午前8時半

場所：web 会議システムを利用して実施

出席：田中信弘（担当理事）、藤原 靖（委員長）、安宅洋美、安藤 圭、稲毛一秀、
重松英樹、鈴木秀典、田中雅人、成田 渉

欠席：大谷晃司、播広谷勝三

陪席：鈴木めぐみ（事務局）

会に先立ち、田中信弘理事から挨拶および各委員から自己紹介がなされた。

【報告事項】

1. 山下前担当理事からの業務内容引継ぎに関して

藤原委員長が、山下前担当理事からの引継ぎ内容を紹介した。

昨年ホームページのリニューアルが完成しているので

- 1) HP の点検と不備の修正
- 2) コンテンツの更なる充実
- 3) バナー広告の獲得

などが主な課題となるとのこと。

また各委員会等からのホームページへの掲載依頼については、事務局から依頼があったら対応する、という内容であったことを報告し、一同確認した。

田中雅人委員が、前回委員長であった任期中にホームページのリニューアルを行ったが、そのきっかけは学会からの指示や依頼ではなく自らの提案であり、なぜ提案を行ったかといえば「ヘルニア」、「腰痛手術」などと入れると、当学会（JSSR）のホームページよりもどこかの整体院や脳外科の学会などが上位に検索されてしまったためだったと説明した。

2. 松山理事長からのメッセージについて

藤原委員長が、松山理事長から田中理事と藤原委員長あてに、ホームページをより活性化させてほしいとの依頼があったとして、そのメッセージの内容を説明した。

本件については審議事項1で検討する。

3. 広報委員会の決定範囲について

藤原委員長が、事前に委員にメールをし、ホームページの内容の確認依頼をした際に以下のような質問が委員の中からあったと説明した。

「どこまで広報委員会で決定していいのか」 明確な規定はないので、軽微なものは委員会内で検討し、難しい内容は理事会に相談あるいは松山理事長に相談する、ということを一同確認した。

【審議事項】

1. ホームページの更新案 松山理事長の依頼内容から藤原委員長が、ホームページ全体について、修正していくべき点はあるが、まず松山理事長から依頼を踏まえ、以下のようなことから行っていったらどうかと考えているとしてこれから行っていく業務案を提示した。

- 1) 手術動画
- 2) 新しいニュース
- 3) 新しいメンバーの紹介
- 4) 海外学会の参加フォトの掲載
- 5) トラベリングフェローの写真
- 6) 新理事の写真
- 7) モニタリングワーキングで検討中の認定医制度の進捗状況などの広報
- 8) 脊椎脊髄病学会の委員会活動の広報
- 9) 積極的に各種委員会理事や委員長へ連絡し、ニュースを取り入れる

特にその中から、まず着手できそうなこととして

2)・・・表彰式、学会写真の掲載は学術集会の運営事務局（または主催校）にそれぞれの学術集会の写真が保管されているはずなので、それを利用させてもらう

5)・・・トラベリングフェローの写真は、現状掲載されている PDF から写真だけを外に出して、PDF を開かなくても、雰囲気は伝わるようにする

6)・・・理事顔写真の掲載、日本語英語併記、英語ホームページからリンクを行う。また過去の理事会の集合写真を、「脊椎脊髄病学会の歴史～これまでの学会のあゆみ～」部分の年表頁へ掲載することなどを提案した。

さらに、6)と関連して評議員リストも日本語英語併記、顔写真を提案したが、その写真を収集するのはかなり手間になるが、広報委員会内で行えるかの議論があり、再検討となった。

他に案を募った。

田中理事：トップページの写真がスライドするが、大きく中村博亮前理事長が出ているので、

松山理事長の写真と差し替えてはどうか。また松山理事長の「理事長挨拶」の原稿を英語に直していただき、英文ホームページにも掲載してはどうか

藤原委員長：理事長挨拶と学会概要をよりわかりやすい部分(トップページのスライド写真の上にボタンを置くなど)にも表示してはどうか。

鈴木委員：身近な若手に意見を求めたところ、入会の仕方がわかりにくいとの意見があったので、もう少しわかりやすくしたほうがよいように思う。またこのように学生や研修医などに意見を聞いてみると、委員会内では気づけなかった意見をもらえることがあるのではないかと思う

安宅委員：同様に様々な人にホームページを見てもらい、意見を求めてはどうか

稲毛委員：前回のリニューアルは文言修正などを行っているだけで精一杯だったが、脊椎外科を目指す若手の医師を対象にして脊椎外科の魅力を紹介するコーナーなどがあってもよいと考える

重松委員：「会員・医療関係のみなさん」のページの「お知らせ」がキーワード検索できるとよいと思う。また「一般のみなさん」には新聞・雑誌等メディアの情報などを掲載し、敷居を低くしてもよいと思う

そのほか、今年はコロナ禍の影響で難しいかもしれないが、海外へ行った若い会員や留学生などによる紀行記の掲載、など様々な意見が出た。

田中理事が、まずは田中理事と藤原委員長で、松山理事長に英語の「理事長挨拶」を依頼すると提案し、一同賛成した。

また今月の理事会(7月16日)で、今日の委員会が出された提案について報告することになった。

また、藤原委員長が、松山理事長のホームページに対するイメージが浜松医大のものに近いように思うので、それぞれ確認しておいてほしいと依頼し、一同承知した。

2. バナー広告について

バナー広告の掲載箇所を確認した。トップページの一番下(各ページの一番下にも掲載)になっているが、企業としてはもっと上の目立つところにあったほうが嬉しいのではとの意見が出された。

JSSR のバナー広告は年間いくらなのかとの質問があり、事務局が年間 36 万円であると回答した。また「JSR」「SSRR」のボタンの中にそれぞれバナー広告を掲載できる箇所があり、年間同額であったが、つい最近の理事会で「JSR」掲載バナーは「月額にした場合(その希望が企業側からあったため)5万円」との決議があったことを事務局が説明した。

成田委員が、トップページ下のバナーは現在2社のみだが、JSSRの規模ならもっと集まるのではないかと発言し、日本整形外科学会(日整会)では年間12万円であったと思うとして、その他バナーについての資料があればメール等で広報委員各位へ連絡すると発言した。

田中理事が、なるべくバナーは集める方向で、広報委員会内で声掛けをしていきたいと発言した。

3. 今後の委員会開催について

藤原委員長が、松山理事長からはより頻回に広報委員会を開催し、ホームページをより魅力的なものにしてほしいとの下命であるが、今後どのようなペースや方法で開催していくかと提起した。

田中雅人委員が、前広報委員会時は、春（JSSR 学術集会）と秋（日本腰痛学会など他の秋に開催される学術集会）に 1 回ずつ程度集まっていたが、今回のように web 会議であればより頻回に開催してもよいように思うと意見を述べた。

安藤委員が、今日のように顔を合わせて意見を言い合うと、様々な意見が出ると思うと発言した。

web 会議システムを利用して、頻繁にまた時間は短めに行うとよいのではないかとの意見があり、一同賛成した。

藤原委員長が、3 か月に 1 度程度は今回と同様の形で集まりたいと発言し、一同賛成した。

以上